

第二部 紀要 I. 業績

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 金沢大学保健管理センター 公開日: 2025-05-07 キーワード: 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/2297/0002002600

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 4.0 International License.



第二部 紀 要

I 業績

吉川 弘明

学内委員会など

- ・ 附属病院産業医
- ・ 附属病院安全衛生委員会委員
- ・ 安全衛生マネジメント委員会委員
- ・ 感染症予防・対策委員会委員
- ・ 微生物等安全管理委員会委員
- ・ 学生生活委員会委員
- ・ 学生自死防止専門委員会委員
- ・ 金沢大学イノベーション創成センター協力会産学コーディネーター
- ・ KUGS 本部会議における国際交流メンタルヘルス対策チーム委員

学内での教育的活動

(共通教育)

- ・ 導入科目 大学・社会生活論「健康論」(Q1、角間) 3クラス, 1/8 コマ担当.
- ・ GS 科目 「2D 健康科学」(Q2、角間) 1クラス, 8/8 コマ担当.
- ・ 自由履修科目 「健康論実践 D—生活習慣病予防を食事から実践する—」(後期集中、角間) 7.5/7.5 コマ担当.
- ・ 自由履修科目 「心と体の健康 A」(Q3・後期前半、角間) 8/8 コマ担当.
- ・ 自由履修科目 「心と体の健康 B」(Q4・後期後半、角間) 8/8 コマ担当.

(学類教育)

- ・ 医薬保健学域 脳神経内科「神経筋接合部疾患および筋疾患」(後期、宝町) 1/7.5 コマ担当.
- ・ 人間社会学域 「心理的アセスメント A」「心理的アセスメント B」(Q3、Q4、角間)「心理検査 神経心理学的検査」
「医療・産業領域の心理的アセスメント」2/16 コマ担当.

(課外教育)

- ・ 学生支援プログラム及び学生クルー活動. 統括責任者.
- ・ 金沢大学フィルハーモニー管弦楽団: 顧問教員

学内での診療活動

- ・ 保健管理センター本部、南分室、宝町分室
- ・ 附属病院脳神経内科外来担当 (水曜日午前)
- ・ 附属病院セカンド・オピニオン外来担当 (重症筋無力症、ランバート・イートン筋無力症候群)

学会発表

- ・ 吉川弘明, 中村好一, 栗山長門, 村井弘之, 酒井康成, 野村芳子, 足立由美, 岩佐和夫, 古川 裕, 東 昭孝, 松井 真, 桑原 聡: ランバート・イートン筋無力症候群の臨床像 —腫瘍の有無による比較—. 第 63 回日本神経学会学術集会 東京 2022. 5. 18-21
- ・ 吉川弘明: COVID-19 パンデミックにおける金沢大学の取組 (パネルディスカッション 2). 第 60 回全国大学保健管理協会東海・北陸地方部会研究集会 富山大学 (富山市) 2022. 7. 28-29
- ・ 足立由美, 吉川弘明. 新型コロナウイルス感染拡大後の大学 1 年生の健康状態 —2020, 2021, 2022 健康調査の分析—. 日本教育心理学会第 64 回総会, (オンライン開催), 2022. 8. 10-9. 10
- ・ 吉川弘明, 足立由美. 好みの香水を朝 1 回使用すると不安が和らぎ、レジリエンスと社会的 QOL が高まる —大学生を対象としたプラセボ対照ランダム化クロスオーバー試験— 日本心理学会第 86 回大会 日本大学文理学部 (東京都) 2022. 9. 8-11.
- ・ 足立由美, 吉川弘明, 馬場絢子, 田上芳美, 森 真理, 得永美和, 藤原智子, 藤原 浩: コロナ禍の大学生の BMI とメンタルヘルス —2018-2022 データの分析—. 第 60 回全国大学保健管理研究集会, 北里大学 (横浜市),

研究会、班会議等

- ・ 吉川弘明, 中村好一, 栗山長門, 村井弘之, 酒井康成, 野村芳子, 松井 真, 園生雅弘, 本村政勝, 横田隆徳, 今井富裕, 鈴木重明, 中根俊成, 中村幸志, 鶴沢頭之, 足立由美, 岩佐和夫, 古川 裕, 東 昭孝, 桑原 聡. 全国疫学調査 2018 に基づく重症筋無力症の臨床病型分類. 厚生労働科学研究費補助金難治性疾患等政策研究事業(難治性疾患政策研究事業) 神経免疫疾患のエビデンスに基づく診断基準・重症度分類・ガイドラインの妥当性と患者 QOL の検証研究班, 令和 3 年度合同班会議, 千葉 (Web 開催), 2022. 1. 13-14
- ・ 吉川弘明, 中村好一, 栗山長門, 村井弘之, 酒井康成, 野村芳子, 足立由美, 岩佐和夫, 古川 裕, 東 昭孝, 松井 真, 桑原 聡. 腫瘍合併の有無によるランバート・イートン筋無力症候群の臨床像 -全国疫学調査 2018 の解析より. 厚生労働科学研究費補助金難治性疾患等政策研究事業(難治性疾患政策研究事業) 神経免疫疾患のエビデンスに基づく診断基準・重症度分類・ガイドラインの妥当性と患者 QOL の検証研究班, 令和 3 年度合同班会議, 千葉 (Web 開催), 2022. 1. 13-14

学会における貢献

- ・ 全国大学保健管理協会 評議員 機関誌「CAMPUS HEALTH」編集委員長
- ・ 国立大学法人保健管理施設協議会 国際交流特別委員会委員
- ・ 日本神経学会 専門医 指導医 重症筋無力症診療ガイドライン作成委員会委員
- ・ 日本神経免疫学会 評議員 重症筋無力症治験等支援グループメンバー
- ・ 日本神経治療学会 評議員
- ・ 日本心理学会 会員
- ・ 全国大学メンタルヘルス研究会 会員
- ・ 日本内科学会 認定医
- ・ 日本産業衛生学会 会員
- ・ 米国大学保健学会 (American College Health Association) 会員
- ・ 米国神経学会 (American Academy of Neurology) 会員

研究助成等

- ・ 吉川弘明: 厚生労働省・『神経免疫疾患のエビデンスに基づく診断基準・重症度分類・ガイドラインの妥当性と患者 QOL の検証』班・研究分担者(研究代表者・桑原 聡)
- ・ 吉川弘明: 文部科学省/日本学術振興会・平成 31 年度科学研究費 基盤研究 (C) 『重症筋無力症の新規病態: 免疫チェックポイント分子と補体制御因子および治療への発展』・研究分担者(研究代表者・岩佐和夫)
- ・ 吉川弘明: 科学研究費 (基盤研究 C 一般) 『遂行機能に着目した成人期発達障害学生の就労アセスメント』(令和 4 -7 年度) 研究分担者(研究代表者・足立由美)

論文・報告書等

(論文)

- ・ Hiroaki Yoshikawa. Autoimmunity to acetylcholine receptor channels. *Neurology and Clinical Neuroscience* 2022-08-04
- ・ Hiroaki Yoshikawa, Yumi Adachi, Yosikazu Nakamura, Nagato Kuriyama, Hiroyuki Murai, Yoshiko Nomura, Yasunari Sakai, Kazuo Iwasa, Yutaka Furukawa, Satoshi Kuwabara, Makoto Matsui. Nationwide survey of Lambert-Eaton myasthenic syndrome in Japan. *BMJ Neurology Open* 2022-09
- ・ Hiroaki Yoshikawa, Yumi Adachi, Yosikazu Nakamura, Nagato Kuriyama, Hiroyuki Murai, Yoshiko Nomura, Yasunari Sakai, Kazuo Iwasa, Yutaka Furukawa, Satoshi Kuwabara, Makoto Matsui. Two-step nationwide epidemiological survey of myasthenia gravis in Japan 2018. *PLOS ONE* 2022-09-21
- ・ Hiroaki Yoshikawa. Epidemiological study of myasthenia gravis in Japan. *Clinical and Experimental Neuroimmunology*. 2022-12-09
- ・ Kazuo Iwasa, Yutaka Furukawa, Hiroaki Yoshikawa, Masahito Yamada, Kenjiro Ono. CD59 Expression in Skeletal Muscles and Its Role in Myasthenia Gravis. *Neurol Neuroimmunol Neuroinflamm*. 2022 Nov 17;10(1):e200057

- ・ 吉川弘明. 重症筋無力症の疫学. Progress in Medicine. 42:737-741, 2022
- ・ 吉川弘明. Lambert-Eaton 筋無力症候群. 日本臨床. 80. Suppl 5. 440-445, 2022

(報告書)

- ・ 吉川弘明, 中村好一, 栗山長門, 村井弘之, 酒井康成, 野村芳子, 松井 真, 園生雅弘, 本村政勝, 横田隆徳, 今井富裕, 鈴木重明, 中根俊成, 中村幸志, 鶴沢顕之, 足立由美, 岩佐和夫, 古川 裕, 東 昭孝, 桑原 聡. 全国疫学調査 2018 に基づく重症筋無力症の臨床病型分類. 厚生労働科学研究費補助金難治性疾患等政策研究事業(難治性疾患政策研究事業)神経免疫疾患のエビデンスに基づく診断基準・重症度分類・ガイドラインの妥当性と患者QOLの検証研究班 令和3年度 総括・分担研究報告書, 2022.3
- ・ 吉川弘明, 中村好一, 栗山長門, 村井弘之, 酒井康成, 野村芳子, 足立由美, 岩佐和夫, 古川 裕, 東 昭孝, 松井 真, 桑原 聡. 腫瘍合併の有無によるランバート・イートン筋無力症候群の臨床像 -全国疫学調査 2018 の解析より. 厚生労働科学研究費補助金難治性疾患等政策研究事業(難治性疾患政策研究事業)神経免疫疾患のエビデンスに基づく診断基準・重症度分類・ガイドラインの妥当性と患者QOLの検証研究班 令和3年度 総括・分担研究報告書, 2022.3
- ・ 足立由美, 吉川弘明, 馬場絢子, 田上芳美, 森真理, 得永美和, 高知嘉子. 新型コロナウイルス感染拡大下での学生相談-2018, 2019, 2020 データの分析-. CAMPUS HEALTH, 60(1), 260, 2022

学外における社会貢献活動

- ・ 厚生労働科学研究費補助金難治性疾患等政策研究事業(難治性疾患政策研究事業)神経免疫疾患のエビデンスによる診断基準・重症度分類・ガイドラインの妥当性と患者のQOLの検証研究班(研究代表者・桑原 聡) 研究分担者, 幹事(重症筋無力症 担当), 重症筋無力症・LEMS 全国調査推進委員会 委員長
- ・ 難病情報センター情報企画委員(重症筋無力症 担当)
- ・ 日本多発性硬化症協会 医学顧問
- ・ 2022.7.12 金沢市元町保健所とのミーティング(ゲートキーパー研修について)

足立 由美

学内委員会など

- ・ 学生自死防止専門委員会委員
- ・ 障がい学生支援委員会委員
- ・ 総合相談室相談員(助言者)
- ・ 教員評価委員会委員
- ・ KUGS 本部会議における国際交流メンタルヘルス対策チーム委員

学内での教育的活動

(共通教育)

- ・ 「健康論」(導入科目「大学・社会生活論」・Q1)7クラス(うち1クラスは同時配信クラス), 1/8 コマ担当.
- ・ 「健康科学」(GS 科目 2D 健康科学・Q2)1クラス, 8/8 コマ担当.
- ・ 「健康論実践D-生活習慣病予防を食事から実践する」(自由履修科目・Q2 集中)コーディネーター.
- ・ 「健康論実践E-人間関係トレーニング」(自由履修科目・Q4 集中)コーディネーター. 8/8 コマ担当.
- ・ 「心と体の健康A」(自由履修科目・Q3)コーディネーター.
- ・ 「心と体の健康B」(自由履修科目・Q4)コーディネーター.
- ・ 「アカデミックスキル」(Q1)1クラス(看護学専攻), 1/8 コマ担当.

(学類教育)

- ・ 「心理的アセスメント A」「心理的アセスメント B」(人間社会学域専門科目・Q3, Q4)コーディネーター. 1クラス, 16/16 コマ担当.

(大学院教育)

- ・ 「看護心理学特論」(医薬保健学総合研究科博士前期課程科目・Q2 集中)「心理アセスメント」「カウンセリング技

法」1クラス, 4/16 コマ担当.

- ・ 「看護教育特論」(医薬保健学総合研究科博士前期課程科目・Q3)「教育心理」1クラス, 1/8 コマ担当. (オンライン)

(課外教育)

- ・ 学生支援プログラム及び学生クルー活動. 副統括責任者.

学内講演

- ・ 2022. 2. 18 令和3年度課外活動団体代表者研修会講師:「サークルリーダーへのアドバイス」(オンライン)
- ・ 2022. 3. 23 理工学域・自然科学研究科 第13回FDシンポジウム講師:「新型コロナウイルス感染症が大学生に及ぼした影響」(オンライン)
- ・ 2022. 3. 29 令和4年度前期学生相談担当者研修会講師:「相談を受けるときの基本的な態度について」(オンデマンド)
- ・ 2022. 4. 4 令和4年度第1回全学FD研修会「新任教員説明会<教育・学生編>」講師:「学生の心のケアおよび学生相談について」
- ・ 2022. 7. 21 2022年度全学海外渡航学生対象危機管理オリエンテーション講師:「留学中の健康管理 特にメンタルヘルスについて」
- ・ 2022. 12. 23 2022年度全学海外渡航学生対象危機管理オリエンテーション講師:「留学中の健康管理 特にメンタルヘルスについて」(オンデマンド)

学会発表

- ・ 足立由美, 吉川弘明. 新型コロナウイルス感染拡大後の大学1年生の健康状態 —2020, 2021, 2022 健康調査の分析一. 日本教育心理学会第64回総会, (オンライン開催), 2022. 8. 10-9. 10
- ・ 足立由美, 吉川弘明, 馬場絢子, 田上芳美, 森 真理, 得永美和, 藤原智子, 藤原 浩: コロナ禍の大学生のBMIとメンタルヘルス—2018-2022 データの分析—. 第60回全国大学保健管理研究集会, 北里大学(横浜市), 2022. 10. 19-20
- ・ 吉川弘明, 中村好一, 栗山長門, 村井弘之, 酒井康成, 野村芳子, 足立由美, 岩佐和夫, 古川 裕, 東 昭孝, 松井 真, 桑原 聡: ランバート・イートン筋無力症候群の臨床像 —腫瘍の有無による比較—. 第63回日本神経学会学術集会 東京 2022. 5. 18-21
- ・ 吉川弘明, 足立由美. 好みの香水を朝1回使用すると不安が和らぎ、レジリエンスと社会的QOLが高まる 大学生を対象としたプラセボ対照ランダム化クロスオーバー試験 日本心理学会第86回大会 日本大学文理学部(東京都) 2022. 9. 8-11.

学会における貢献

- ・ 日本学生相談学会会員
- ・ 日本心理臨床学会会員
- ・ 日本心理学会会員
- ・ 日本教育心理学会会員
- ・ 米国大学保健管理学会(American College Health Association) 会員
- ・ 日本臨床心理士会 会員
- ・ 石川県臨床心理士会 会員

研究助成等

- ・ 科学研究費(基盤研究C一般)『遂行機能に着目した成人期発達障害学生の就労アセスメント』(令和4-7年度) 研究代表者

論文・報告書等

(論文)

- ・ 足立由美. 学生相談における遠隔相談の実践と可能性. 学生相談研究, 43(1), 45-55, 2022
- ・ Hiroaki Yoshikawa, Yumi Adachi, Yosikazu Nakamura, Nagato Kuriyama, Hiroyuki Murai, Yoshiko Nomura,

Yasunari Sakai, Kazuo Iwasa, Yutaka Furukawa, Satoshi Kuwabara, Makoto Matsui. Nationwide survey of Lambert-Eaton myasthenic syndrome in Japan. BMJ Neurology Open 2022-09

- ・ Hiroaki Yoshikawa, Yumi Adachi, Yosikazu Nakamura, Nagato Kuriyama, Hiroyuki Murai, Yoshiko Nomura, Yasunari Sakai, Kazuo Iwasa, Yutaka Furukawa, Satoshi Kuwabara, Makoto Matsui. Two-step nationwide epidemiological survey of myasthenia gravis in Japan 2018. PLOS ONE 2022-09-21

(報告書)

- ・ 足立由美, 吉川弘明, 馬場絢子, 田上芳美, 森真理, 得永美和, 高知嘉子. 新型コロナウイルス感染拡大下での学生相談—2018, 2019, 2020 データの分析—. CAMPUS HEALTH, 60(1), 260, 2022
- ・ 足立由美. 令和3年度学生の自死防止のための研修会 開催報告. 金沢大学保健管理センター年報・紀要, 14(通巻48), 72-75, 2022
- ・ 吉川弘明, 中村好一, 栗山長門, 村井弘之, 酒井康成, 野村芳子, 松井 真, 園生雅弘, 本村政勝, 横田隆徳, 今井富裕, 鈴木重明, 中根俊成, 中村幸志, 鶴沢顕之, 足立由美, 岩佐和夫, 古川 裕, 東 昭孝, 桑原 聡. 全国疫学調査 2018 に基づく重症筋無力症の臨床病型分類. 厚生労働科学研究費補助金難治性疾患等政策研究事業(難治性疾患政策研究事業) 神経免疫疾患のエビデンスに基づく診断基準・重症度分類・ガイドラインの妥当性と患者QOLの検証研究班 令和3年度 総括・分担研究報告書, 2022.3
- ・ 吉川弘明, 中村好一, 栗山長門, 村井弘之, 酒井康成, 野村芳子, 足立由美, 岩佐和夫, 古川 裕, 東 昭孝, 松井 真, 桑原 聡. 腫瘍合併の有無によるランバート・イートン筋無力症候群の臨床像—全国疫学調査 2018 の解析より. 厚生労働科学研究費補助金難治性疾患等政策研究事業(難治性疾患政策研究事業) 神経免疫疾患のエビデンスに基づく診断基準・重症度分類・ガイドラインの妥当性と患者QOLの検証研究班 令和3年度 総括・分担研究報告書, 2022.3

(取材)

- ・ 足立由美. 「冬季うつ」ご用心 北陸中日新聞, 2022.12.15 朝刊

学外講演

- ・ 2022.10.22 石川高等専門学校研修会講演「思春期の学生の心の動きとそこへのかかわり方」(オンデマンド)
- ・ 2022.11.9 令和4年度全国大学保健管理協会第45回北陸地区保健管理担当職研究会講演「学生の心のケアおよび学生相談について」於金沢大学

学外における社会貢献活動

- ・ 石川県臨床心理士会幹事(2021-2023年度)
- ・ 2022.7.12 金沢市元町保健所とのミーティング(ゲートキーパー研修について)

清水 美保

学内委員会など

- ・ 角間地区産業医(～2022.11.30)
- ・ 角間地区事業場安全衛生委員会委員(～2022.11.30)
- ・ 宝町・鶴間地区産業医(2022.12.1～)
- ・ 宝町・鶴間地区事業場安全衛生委員会委員(2022.12.1～)
- ・ 安全衛生マネジメント委員会委員

学内での教育的活動

(学類教育)

- ・ 医薬保健学域医学類 腎臓学「膠原病と腎疾患」(2022.2.22)
- ・ 医薬保健学域医学類 臨床検査医学「臨床検査医学総論」(2022.12.6)
- ・ 医薬保健学域医学類 腎臓学「腎臓病総論」(2022.12.9)
- ・ 医薬保健学域医学類 臨床検査医学臨床実習(2022.12.12, 2022.12.19)
- ・ 令和4年度金沢大学医学類第4学年対象 共用試験医学系 Pre-CC OSCE 内部評価者(2022.9.10)

(大学院教育)

- ・ 医学系研究科 医科学専攻・保健学専攻共催 修士課程 予防医学概論 (集中講義)「慢性腎臓病と高血圧—予防が重要です」 1 コマ担当 (2022. 10. 2)

学内での診療活動

- ・ 保健管理センター
- ・ 附属病院腎臓内科 副科長

学内講演

- ・ 令和4年度課外活動団体顧問・代表者説明会 講師「熱中症予防及びAEDの使用法」(2022. 7. 14)

学会発表

- ・ 清水美保, 古市賢吾, 山内真之, 星野純一, 乳原善文, 鮫島謙一, 鶴屋和彦, 和田隆志. 一般演題「病理診断された糖尿病性腎臓病における糸球体門部小血管増生の臨床・病理学的意義」. 第65回日本腎臓学会学術総会 (2022.6.11 神戸)
- ・ 他 共同演者 28題

学会における貢献

- ・ 日本内科学会 認定内科医, 総合内科専門医, 指導医
- ・ 日本腎臓学会 腎臓専門医, 指導医, 評議員, 学会あり方委員会委員, 腎臓病対策委員会委員, 腎臓病登録・追跡小委員会委員, 第52回日本腎臓学会西部学術大会演題査読委員, ダイバーシティ推進委員会委員 (～2022.3.31), 第二次五カ年計画作成委員会委員 (～2022.3.31)
- ・ 日本リウマチ学会 リウマチ専門医
- ・ 日本透析医学会 専門医, 指導医
- ・ 日本アフェレシス学会 血漿交換療法専門医
- ・ 日本高血圧学会 会員
- ・ 日本病態栄養学会 会員
- ・ 日本臨床化学会 会員
- ・ 日本糖尿病合併症学会 会員
- ・ 日本心血管内分泌代謝学会 会員
- ・ 米国腎臓学会 会員
- ・ 国際腎臓学会 会員
- ・ 2018～2022年度 国立研究開発法人日本医療研究開発機構 ゲノム医療実現推進プラットフォーム事業 先端ゲノム研究開発「精緻な疾患レジストリーと遺伝・環境要因の包括的解析による糖尿病性腎臓病, 慢性腎臓病の予後層別化と最適化医療の確立」 研究参加者
- ・ 2020～2022年度 国立研究開発法人日本医療研究開発機構 循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策研究事業「糖尿病性腎症, 慢性腎臓病の重症化抑制に資する持続的・自立的エビデンス創出システムの構築と健康寿命延伸・医療最適化への貢献」 研究参加者
- ・ 日本女性腎臓病医の会 世話人
- ・ 第43回日本アフェレシス学会学術大会 実行委員長 (2022.11.12～11.13 金沢)
- ・ 第33回日本糖尿病性腎症研究会 事務局 (2022.12.3～12.4 金沢)

研究助成等

- ・ 令和4年度(公財)日本腎臓財団 CKD(慢性腎臓病)病態研究助成(2022. 12. 1～2024. 3. 31)「高血圧性腎硬化症における腎性貧血と腎線維化に着目した予後層別化に関する検討」(研究代表者)

論文・報告書等

(論文)

- ・ Linh HT, Iwata Y, Senda Y, Sakai-Takemori Y, Nakade Y, Oshima M, Nakagawa-Yoneda S, Ogura H, Sato K, Minami T, Kitajima S, Toyama T, Yamamura Y, Miyagawa T, Hara A, Shimizu M, Furuichi K, Sakai N, Yamada H, Asanuma

K, Matsushima K, Wada T. Intestinal bacterial translocation contributes to diabetic kidney disease. *J Am Soc Nephrol*. 2022 Jun;33(6):1105-1119.

- Iwata Y, Nakade Y, Kitajima S, Yoneda-Nakagawa S, Oshima M, Sakai N, Ogura H, Sato K, Toyama T, Yamamura Y, Miyagawa T, Yamazaki H, Hara A, Shimizu M, Furuichi K, Mita M, Hamase K, Tanaka T, Nishida M, Muramatsu W, Yamamoto H, Shichino S, Ueha S, Matsushima K, Wada T. Protective effect of d-alanine against acute kidney injury. *Am J Physiol Renal Physiol*. 2022 Jun 1;322(6):F667-F679.
- Sako K, Furuichi K, Makiishi S, Yamamura Y, Okumura T, Le HT, Kitajima S, Toyama T, Hara A, Iwata Y, Sakai N, Shimizu M, Niimura F, Matsusaka T, Kaneko S, Wada T. Cyclin-dependent kinase 4-related tubular epithelial cell proliferation is regulated by Paired box gene 2 in kidney ischemia-reperfusion injury. *Kidney Int*. 2022 Jul;102(1):45-57.
- Mochida Y, Hara A, Oka M, Maesato K, Ishioka K, Moriya H, Oshima M, Toyama T, Kitajima S, Iwata Y, Sakai N, Shimizu M, Koshino Y, Ohtake T, Hidaka S, Kobayashi S, Wada T. Association between anti-erythropoietin receptor antibodies and cardiac function in patients on hemodialysis: A multicenter cross-sectional study. *Biomedicines*. 2022 Aug 26;10(9):2092.
- Yamamura Y, Iwata Y, Furuichi K, Kato T, Yamamoto N, Horikoshi K, Ogura H, Sato K, Oshima M, Nakagawa S, Miyagawa T, Kitajima S, Toyama T, Hara A, Sakai N, Shimizu M, Horike S, Daikoku T, Nishinakamura R, Wada T. Kif26b contributes to the progression of interstitial fibrosis via migration and myofibroblast differentiation in renal fibroblast. *FASEB J*. 2022 Nov;36(11):e22606.
- Sugawara Y, Hirakawa Y, Nagasu H, Narita A, Katayama A, Wada J, Shimizu M, Wada T, Kitamura H, Nakano T, Yokoi H, Yanagita M, Goto S, Narita I, Koshiba S, Tamiya G, Nangaku M, Yamamoto M, Kashihara N. Genome-wide association study of the risk of chronic kidney disease and kidney-related traits in the Japanese population: J-Kidney-Biobank. *J Hum Genet*. 2022 Nov 21. doi: 10.1038/s10038-022-01094-1.
- Nakade Y, Iwata Y, Sakai N, Mita M, Nakane M, Hamase K, Suda W, Toyama T, Kitajima S, Hara A, Shimizu M, Ogushi C, Furuichi K, Koshino Y, Morita H, Hattori M, Wada T. Increased levels of oral Streptococcus-derived D-alanine in patients with chronic kidney disease and diabetes mellitus. *Sci Rep*. 2022 Dec 16;12(1):21773.

(雑誌・記事)

- 清水美保, 和田隆志. 【糖尿病性腎症の最前線】糖尿病性腎症の病理所見. *Medical Science Digest* 48(2): 73-76, 2022
- 清水美保, 和田隆志. 糖尿病性腎臓病の克服を目指した新たな課題:基礎と臨床の融合 糖尿病性腎臓病 腎病理に基づく現状と課題. *糖尿病合併症* 36(2): 227-230, 2022
- 清水美保, 和田隆志. 糖尿病に伴う病理組織. 別冊日本臨床 領域別症候群シリーズ No. 24 腎臓症候群 (第3版) III: 69-75, 2022

学外講演

- 糖尿病性腎臓病の重症化予防を考える～貧血の重要性～ 「糖尿病性腎臓病における貧血～腎病理、予後を含めた考察～」(2022.7.28)
- 腎臓病の地域連携を考える会 「糖尿病性腎臓病の病態と予後：コホート研究の知見を含めた考察」(2021.9.29)
- 第35回となみのカンファレンス 「糖尿病性腎臓病の病態と予後～腎性貧血を含めた考察～」(2022.11.29)

学外における社会貢献活動

- 石川県医師会 糖尿病対策推進会議委員 (2022.7.28～)

阿保 未来

学内委員会など

- 宝町・鶴間地区産業医
- 平和町地区産業医

- ・ 宝町・鶴間地区事業場安全衛生委員会委員
- ・ 平和町地区事業場安全衛生委員会委員
- ・ 安全衛生マネジメント委員会委員

学内での教育的活動

(学類教育)

- ・ 医薬保健学域医学類 公衆衛生学Ⅱ

(大学院教育)

- ・ 大学院医学系研究科 修士課程予防医学概論 集中講義
- ・ 金沢大学 JMECC インストラクター

学内講演

- ・ 2022. 11. 9 第 45 回北陸地区保健管理担当職研究会：「大学生の喘息を見逃さないで」

学内での診療活動

- ・ 保健管理センター
- ・ 附属病院 呼吸器内科

学会発表

- ・ 阿保未来、小川尚彦、古林崇史、武田仁浩、大倉徳幸、原文介、郷原和樹、米田知晃、辻徹朗、中積広貴、清水崇広、寺田七朗、加瀬一政、渡辺知志、丹保裕一、曾根崇、木村英晴、笠原寿郎、ポスター発表 「気道上皮線毛運動測定の試み」、第 62 回日本呼吸器学会学術講演会 (2022. 4. 23 京都)

学会における貢献

- ・ 日本内科学会 総合内科専門医
- ・ 日本呼吸器学会 指導医
- ・ 日本アレルギー学会 指導医
- ・ 日本呼吸器内視鏡学会 指導医
- ・ 日本感染症学会 会員
- ・ 日本サーファクタント・界面医学会 会員
- ・ 日本医師会認定産業医
- ・ 日本鼻科学会 線毛機能不全症候群の診療の手引き作成委員会 委員

論文・報告書等

- ・ Abo M, Takeuchi K, Ikejiri M, Ueno T, Yoneda T, Hara J, Ohkura N, Watanabe S, Kasahara K, Yano S. Primary ciliary dyskinesia with CCDC39 variants displaying specific ciliary ultrastructure and movement concordant with the genotype: A case report. *Respir Investig.* 2022 Sep;60(5):725-728.
- ・ Shimizu T, Watanabe S, Yoneda T, Kinoshita M, Terada N, Kobayashi T, Gohara K, Tsuji T, Nakatsumi H, Tambo Y, Ohkura N, Abo M, Hara J, Sone T, Kimura H, Kasahara K. Interstitial pneumonitis after COVID-19 vaccination: A report of three cases. *Allergol Int.* 2022 Apr;71(2):251-253.

学外における社会貢献活動

- ・ 石川県立中央病院 IMECC インストラクター (2022. 9. 18)

馬場 絢子

学内委員会など

- ・ 学生生活委員会委員
- ・ 共通教育委員会委員, 導入科目企画部会委員
- ・ 学生サポートガイドブック編集委員会委員
- ・ きいつけまっし編集委員会委員

- ・ KUGS 本部会議における国際交流メンタルヘルス対策チーム委員

学内での教育的活動

(共通教育)

- ・ 「健康論」(導入科目「大学・社会生活論」・Q1) 6 クラス (うち 1 クラスは同時配信クラス) , 1/8 コマ担当

(学類教育)

- ・ 「社会・集団・家族心理学 B」(人間社会学域専門科目・Q2) 1 クラス, 8/8 コマ担当
- ・ 「心理的アセスメント」(人間社会学域専門科目・Q3, Q4) 1 クラス, 5/16 コマ担当

(課外教育)

- ・ 学生支援プログラム及び学生クルー活動.

学会発表

- ・ 植田航平, 町田規憲, 井上和哉, 馬場絢子, 小田友理恵, 森彩乃, 辻田那月. <構想>心理学と社会をつなげるためのサイエンスコミュニケーションの在り方について, 日本心理学会 若手の会 主催 異分野間協働懇話会 2022, オンライン, 2022. 03. 13
- ・ 馬場絢子. 大学生ケアラーの実態と精神的健康: 健康調査データの分析から, 日本心理学会第 86 回大会, 東京, 2022. 09. 08-11
- ・ 足立由美, 吉川弘明, 馬場絢子, 田上芳美, 森真理, 得永美和, 藤原智子, 藤原浩. コロナ禍の大学生の BMI とメンタルヘルス-2018-2022 データの分析-. 第 60 回全国大学保健管理研究集会, 横浜, 2022. 10. 19-2006-07

学会における貢献

- ・ 日本心理学会 会員
- ・ 日本家族心理学会 会員
- ・ 日本発達心理学会 会員
- ・ 日本心理臨床学会 会員
- ・ 日本老年臨床心理学会 会員
- ・ 日本応用心理学会 会員
- ・ 日本老年社会科学会 会員
- ・ 日本建築学会 会員
- ・ 日本質的心理学会 会員
- ・ 日本臨床心理士会 会員
- ・ 日本学生相談学会 会員
- ・ 日本家族療法学会 会員

研究助成等

- ・ 令和 3 年度 JST 未来社会創造事業 探索加速型 個人に最適化された社会の実現『新価値 IKIGAI 駆動による地域貢献活動の個人最適化』・研究開発参加者 (研究代表者・飯島勝矢)
- ・ 日本学術振興会 科学研究費助成事業 若手研究『介護者のためのセルフケア版家族療法の構築とプログラム評価』・研究代表者
- ・ 公益信託 福原心理教育研究振興基金『学生相談における若者ケアラー支援: 困難・ニーズ・リソースに注目して』・研究代表者

論文・報告書等

(論文)

- ・ 稲吉玲美, 本田由美, 勝又結菜, 馬場絢子, 高橋美保. マインドフルネス体験が臨床心理初学者に与える影響: 心理職養成課程の学生のワークショップ体験をもとに. マインドフルネス研究, 7(1), 1-16, 2022.
- ・ 松田弥花, 馬場絢子, 菅原育子, 孫輔卿, 飯島勝矢. 地域活動に従事する高齢者の Well-being 概念に関する文献研究. 広島大学大学院人間社会科学部研究紀要「教育学研究」, (3), 163-172, 2022.

(報告書)

- ・ 足立由美, 吉川弘明, 馬場絢子, 田上芳美, 森真理, 得永美和, 高知嘉子. 新型コロナウイルス感染拡大下での学生相談—2018, 2019, 2020 データの分析—. CAMPUS HEALTH, 59(1), 260, 2022.

学外講演

- ・ 2022. 2. 4 高齢者学級 「ストレスと上手につきあうコツ」～気軽にできるリラックス法の紹介～ 金沢市崎浦公民館
- ・ 2022. 6. 26 ガイダンスカウンセラー実践力強化研修「ヤングケアラーへの理解と対応」 一般社団法人日本スクールカウンセリング推進協議会
- ・ 2022. 8. 29 元気に長生き！新しい生活様式とフレイル予防 Zoom で学ぼう 金沢・健康を守る市民の会
- ・ 2022. 9. 26, 11. 28 学ぼう！フレイル予防 社会参加編 金沢健康福祉財団

学外における社会貢献活動

- ・ 一般社団法人日本ケアラー連盟 ヤングケアラープロジェクト メンバー

丸田 高広（協力研究員）

学会における貢献

- ・ 日本神経免疫学会 評議員
- ・ 日本内科学会 認定医・専門医
- ・ 日本神経学会 専門医・指導医
- ・ 日本認知症学会 専門医・指導医
- ・ 日本人間ドック学会 認定医・専門医・指導医
- ・ 日本リハビリテーション医学会 専門医

林 幸司（協力研究員）

学会発表

- ・ 林幸司, 浅野礼, 佐藤万美子, 林広美, 林浩嗣, 三浦豊章, 小林康孝. COVID-19 感染後に脳幹部異常陰影を認めた1例. 第50回日本リハビリテーション医学会北陸地方会, 金沢, 2021. 9. 4
- ・ 植田碧, 東慎一郎, 林真帆, 林幸司, 浅野礼, 佐藤万美子, 小林康孝, 白崎温久. 低血糖と低ナトリウム血症を合併した可逆性脳梁膨大部病変 (MERS) の1例. 第248回日本内科学会北陸地方会、富山、2022. 9. 4
- ・ 浅野礼, 林幸司, 佐藤万美子, 林広美, 三浦豊章, 林浩嗣, 小林康孝. 新型コロナワクチン接種後にパーキンソン病の症状増悪を認めた2症例. 第247回日本内科学会北陸地方会、金沢、2022. 6. 19
- ・ 田中雄大, 林幸司, 橋本智哉. COVID-19 感染後に偽性脳腫瘍を伴う多発脱髄及び血管性病変を病理学的に明らかにした1例. 第65回日本感染症学会中日本地方会学術集会, 長崎, 2022. 11. 4
- ・ 浅野礼, 林幸司, 佐藤万美子, 林広美, 林浩嗣, 三浦豊章, 河原栄, 小林康孝. 病理解剖により COVID-19 感染後の巨大な脱髄病変を明らかにした1例. 第51回日本リハビリテーション医学会北陸地方会, Web, 2022. 2. 26
- ・ 鈴木飛鳥, 佐藤万美子, 浅野礼, 林幸司, 三浦豊章, 林広美, 林浩嗣, 小林康孝. 末梢神経障害を呈した多腺性自己免疫症候群の一例, 第52回日本リハビリテーション医学会北陸地方会, web, 2022. 8. 27
- ・ 中谷友香, 林幸司, 浅野礼, 佐藤万美子, 三浦豊章, 林広美, 林浩嗣, 小林康孝. 繰り返す精神症状により診断された脳アミロイドアンギオパチー (CAA) 関連炎症, 第52回日本リハビリテーション医学会北陸地方会, web, 2022. 8. 27
- ・ 林真帆, 中屋隆裕, 三好真知子, 林幸司, 佐藤万美子, 米田誠, 佐竹一夫. 糖尿病性ケトアシドーシスおよび甲状腺クリーゼを発症し, 抗NAE抗体陽性であった1例, 第21回日本内分泌学会北陸支部学術集会, 福井, 2022. 11. 5
- ・ 植田碧, 佐藤万美子, 林幸司, 林広美, 三浦豊章, 小林康孝. 皮質下性失語に対して Melodic Intonation Therapy を試みた一例, 第6回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会, 岡山, 2022. 11. 6
- ・ 中谷友香, 林幸司, 浅野礼, 佐藤万美子, 三浦豊章, 林広美, 林浩嗣, 小林康孝. 反復経頭蓋磁気刺激療法 (rTMS)

が有効であった脳出血後ヘミヒヨレアの1例, 第6回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会, 岡山, 2022. 11. 5

- ・ 鈴木飛鳥, 佐藤万美子, 林幸司, 浅野礼, 三浦豊章, 林広美, 林浩嗣, 小林康孝. 神経生理学的に回復過程を評価した Intensive care unit-acquired weakness (ICU-AW)の1例, 第6回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会, 岡山, 2022. 11. 4
- ・ 浅野礼, 林幸司, 佐藤万美子, 三浦豊章, 林浩嗣, 林広美, 小林康孝. 咽頭刺激の反復より嚥下障害の改善を認めた脳梗塞の1例, 第59回リハビリテーション医学会学術集会, 横浜, 2022. 6. 23

学会における貢献

- ・ 日本内科学会 認定医・指導医
- ・ 日本神経学会 専門医
- ・ 日本リハビリテーション医学会 専門医
- ・ 日本感染症学会推薦インфекションコントロールドクター

論文・報告書等

(論文)

- ・ Kawabata K, Fujita K, Sato M, Hayashi K, Kobayashi Y. Relationship between Moral Values for Driving Behavior and Brain Activity: An NIRS Study. *Healthcare (Basel)*. 2022 Nov 7;10(11):2221.
- ・ Fujita K, Tsushima Y, Hayashi K, Kawabata K, Sato M, Kobayashi Y. Differences in causes of stiff knee gait in knee extensor activity or ankle kinematics: A cross-sectional study. *Gait Posture*. 2022 Oct;98:187-194.
- ・ Hikishima S, Sakai K, Akagi A, Yamaguchi H, Shibata S, Hayashi K, Nakano H, Kanemoto M, Usui Y, Taniguchi Y, Komatsu J, Nakamura-Shindo K, Nozaki I, Hamaguchi T, Ono K, Iwasa K, Yamada M. Deterioration after Liver Transplantation and Transthyretin Stabilizer Administration in a Patient with ATTRv Amyloidosis with a Leu58Arg (p.Leu78Arg) TTR Variant. *Intern Med*. 2022 Aug 1;61(15):2347-2351.
- ・ Sakai K, Hayashi K, Saito Y, Kanemoto M, Nishino I, Yamada M, Ono K. Late-onset centronuclear myopathy caused by a heterozygous variant of DNM2 (c.1852G>C, p.A618P). *Neurol Clin Neurosci*. 2022 August;10(6):315-317.
- ・ Sakai K, Ishida C, Hayashi K, Tsuji N, Kannon T, Hosomichi K, Takei N, Kakita A, Tajima A, Yamada M. Familial idiopathic basal ganglia calcification with a heterozygous missense variant (c.902C>T/p.P307L) in SLC20A2 showing widespread cerebrovascular lesions. *Neuropathology*. 2022 Apr;42(2):126-133.
- ・ Nakaya Y, Hayashi K, Suzuki A, Ueda M, Asano R, Tanaka Y, Sato M, Hayashi H, Miura T, Hayashi K, Fujita K, Kawabata K, Kobayashi Y. Complete Occlusion of Vertebral Artery and Medial Medullary Infarction. *Neurol Clin Neurosci*. 2022;00:1-2. doi: 10.1111/nen3.12690